

組分けテスト

- ※ 問題用紙は、(その1)から(その4)までありますから、注意してください。
 ※ 答えは、別紙の解答らん^へに書き入れなさい。

1 次の□にあてはまる数を求めなさい。

32

(1) $2\frac{8}{11} + \frac{5}{11} = \square$

(2) $8561 \div 19 = \square \text{ア}$ あまり $\square \text{イ}$ (商は整数で求めなさい。)

(3) $(3 \times \square - 11) \div 4 = 13$

(4) $6.3\text{dL} + 1.9\text{L} = \square \text{mL}$

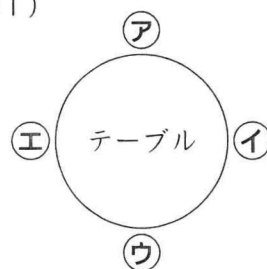
2 次の問いに答えなさい。

80

(1) 24の約数は何個ありますか。

(2) Aさん、Bさん、Cさん、Dさんの4人が、(図1)のア～エの席に、全員テーブルの方を向いてすわっています。Aさんはアの席にすわっていて、Cさんの左どなりの席にはDさんがすわっています。また、Bさんの正面にはCさんがすわっています。イ、ウ、エの席にはそれぞれだれがすわっていますか。

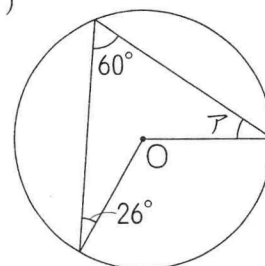
(図1)



(3) 50以下の13の倍数のうち、最も大きい数はいくつですか。

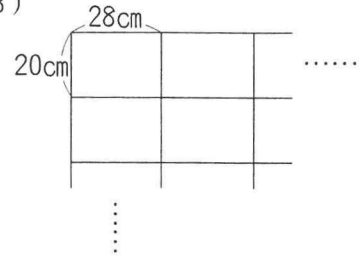
(4) (図2)の点Oは円の中心です。角アの大きさは何度ですか。

(図2)



- (5) たて20cm, 横28cmの長方形のタイルを, (図3)のように同じ向きにすき間なくならべて, なるべく小さい正方形を作ります。このとき, タイルを何まい使いますか。

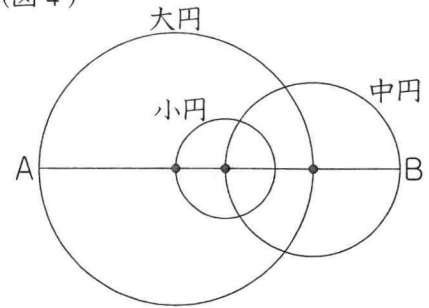
(図3)



- (6) えんぴつが120本と消しゴムが90個あります。これらを子どもたちに配ることにしました。まず, えんぴつを全員に同じ本数ずつ, なるべくあまりが少なくなるように配ったところ, えんぴつは8本あまりました。次に, 消しゴムを全員に同じ個数ずつ, なるべくあまりが少なくなるように配ったところ, 消しゴムは6個あまりました。子どもの人数は何人ですか。考えられる人数をすべて答えなさい。

- (7) (図4)のように, 直線AB上にある・の3点をそれぞれ中心とする大, 中, 小の3つの円をかきました。直線ABの長さは29cmで, 中円の直径は14cmです。小円の直径は何cmですか。

(図4)



- (8) A君, B君, C君, D君の4人が算数のテストを受けました。得点について, 次のア~オのことがわかっています。

- ア 同じ得点の人はいない。
- イ A君の得点に最も近い人はD君。
- ウ B君はC君よりも得点が高い。
- エ C君の得点は, B君の得点よりもA君の得点に近い。
- オ D君よりも得点が低い人は2人か3人。

A君~D君を, 得点の高い方から順にならべなさい。

3 1以上100以下の整数について, 次の問いに答えなさい。ただし, 「わり切れる」とは商を整数で求めたときにあまりが0になることを表すものとします。

- (1) 6でも8でもわり切れる整数は何個ありますか。
- (2) 6ではわり切れるが8ではわり切れない整数は何個ありますか。

4
16

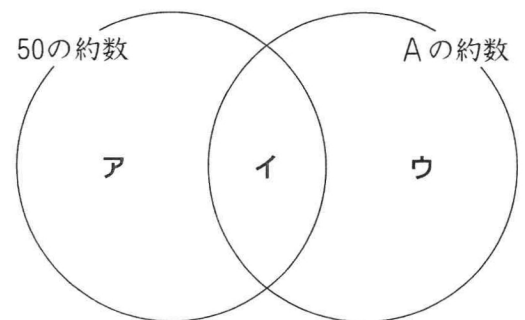
箱の中に{①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦}の7まいのカードが入っています。まず、たかし君が箱の中からカードを3まい取り出し、次に、弟が箱の中からカードを3まい取り出したところ、箱の中には④のカードだけが残りました。また、たかし君が取り出した3まいのカードに書かれた数字の和と、弟が取り出した3まいのカードに書かれた数字の和は等しくなりました。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) たかし君が取り出した3まいのカードに書かれた数字の和はいくつですか。
- (2) その後、たかし君と弟が、持っているカードを1まいずつ交かしたところ、たかし君が持っている3まいのカードに書かれた数字の和は、弟が持っている3まいのカードに書かれた数字の和よりも8だけ大きくなりました。たかし君が弟にわたしたカード、弟がたかし君にわたしたカードに書かれた数字はそれぞれ何ですか。

5
16

右の図は、50の約数と整数Aの約数の関係を表したものです。アにふくまれる整数の個数とイにふくまれる整数の個数は等しく、ウにふくまれる整数は1個です。これについて、次の問いに答えなさい。

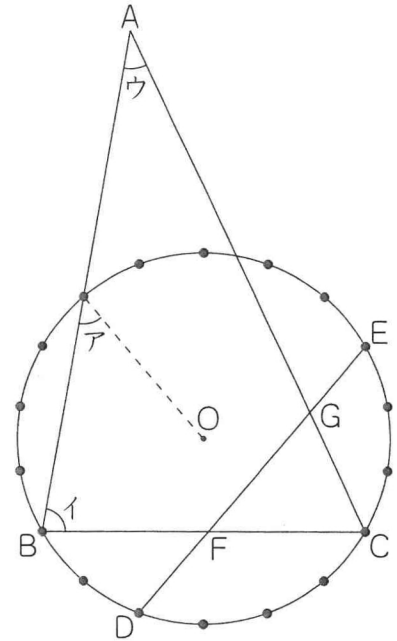
- (1) イにふくまれる整数をすべて答えなさい。
- (2) 整数Aはいくつですか。



6
16

右の図のように、点Oを中心とする円と三角形ABCと直線DEが重なっています。円周を18等分する位置に●がかかれています。FCとFGの長さは等しくなっています。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) 角ア、角イの大きさはそれぞれ何度ですか。
- (2) 角ウの大きさは何度ですか。



7
24

A, B, C, D, E, Fの6人が、はじめ、コインを5まいずつ持っています。6人は全員、他の5人と1回ずつジャンケンをし、ジャンケンに勝った方が負けた方からコインを1まいもらうことにします。ただし、ジャンケンはず必ず2人で行い、あいこはジャンケンの回数にふくめません。下の表は、1組目のジャンケンを開始してから5分たった時点での途中経過を表したもので、6人それぞれについて、それまでに終えたジャンケンの回数と、その時点で持っているコインのまい数が書かれています。たとえば、Aはこの時点で3回のジャンケンを終えていて、コインを4まい持っています。これについて、次の問いに答えなさい。

人	A	B	C	D	E	F
ジャンケンの回数(回)	3	5	2	5	4	イ
コインのまい数(まい)	4	2	5	8	ア	4

- (1) 表のアにあてはまる数を答えなさい。
- (2) 表のイにあてはまる数を答えなさい。また、表の時点で、まだFがジャンケンをしていない相手はA～Eのうちのだれですか。何人かいる場合はすべて答え、1人もいない場合は×と答えなさい。
- (3) その後、残りのジャンケンもすべて行われ、最後にC, E, Fが持っているコインのまい数は等しくなりました。また、C対DのジャンケンではCが勝ったことがわかっています。AとのジャンケンでAに勝った人はB～Fのうちのだれですか。何人かいる場合はすべて答え、1人もいない場合は×と答えなさい。